

令和6年度 江別市社会教育総合計画（第10期）推進状況報告書

計画期間 令和 6 年度～ 令和 10 年度

基 本 理 念： 江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくり

上記基本理念を実現するために基本目標を3項目設定し、取り組みます。

基本目標Ⅰ：地域全体で子どもを守り育てる体制づくり

【基本目標Ⅰで目指すこと】

家庭環境の多様化に伴い、子育てについての不安・孤立を感じる家庭や、子どもの社会性や自立心、基本的生活習慣の育成に課題を抱える家庭が増加するなど、教育上の課題が複雑化しています。また、核家族化や共働き世帯の増加などにより、地域とのつながりの希薄化が進み、子育てや家庭教育を支える地域環境が大きく変化しています。

江別の次代を担う子どもたちが健やかに成長していくために必要な力の育成など、地域の更なる教育力の向上に取り組むとともに、子どもの豊かな人間性や社会性を育む体験活動を推進し、人づくりと地域づくりを行うことによって、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりなど、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを目指します。

1 家庭の教育力の向上

◆成果指標1-① 家庭教育の支援に関する事業への参加者数（人）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
1,060人	1,330人					→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標1-② 家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数（人）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
27,761人	33,199人					→

指標：江別市調査

2 地域の教育力の向上

◆成果指標2-① 学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合（%）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
75.7%	76.9%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標2-② 地域団体等が主催する行事への参加者数（人）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
25,311人	27,394人					→

指標：江別市教育委員会調査

3 子どもの豊かな人間性を育む教育の実践

◆成果指標3-① ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合（%）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
53.8%	50.9%					↗

指標：江別市教育委員会調査

4 子どもの安全・安心な環境づくり

◆成果指標4-① 子育て環境が充実していると思う保護者の割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R10年度)
47.9%	67.3%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■令和6年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び令和7年度の推進の方向性

- ・家庭教育の支援に取り組む団体と連携した学習機会の提供や子育て支援施設の活用により、家庭教育を支援しました。
- ・青少年の健全育成に取り組む地域の住民団体やボランティア団体をはじめとした育成団体の活動を支援するとともに、育成団体と協働して、地域の自然、文化、産業等の資源を生かした様々な体験活動の機会を提供しました。
- ・成果指標1-①「家庭教育の支援に関する事業への参加者数」及び1-②「家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数」は、現状値（R 4年度）に比べて増加しています。これは、コロナ禍からの回復傾向がより顕著となり、各種事業への参加者や子育て支援施設の利用者が増加したことによるものと考えられます。成果指標2-①「学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合」は、概ね横ばいであります。子どもを地域ぐるみで育てる環境の整備が求められます。2-②「地域団体等が主催する行事への参加者数」は、現状値（R 4年度）に比べて増加しており、コロナ禍と比較すると各種行事の実施数が増えていることによるものと考えられます。成果指標3-①「ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合」は、現状値（R 4年度）に比べて2.9%減少しており、引き続き体験学習活動の充実を進めてまいります。成果指標4-①「子育て環境が充実していると思う保護者の割合」は、現状値（R 4年度）に比べて19.4%増加しています。この要因の一つとしては、放課後児童クラブの増設による待機児童の解消など、子育て世代のニーズに応えた支援等が行われているためであると考えられます。
- ・今後も関係団体等と連携を図り、地域全体で安全に安心して子育てできる環境づくりを進め、地域の人材やボランティア団体などと連携した様々な体験・交流活動の機会を充実させるとともに、学校・家庭・地域が相互に連携しながら、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりに努めます。

基本目標Ⅱ：持続可能な生涯学習の推進

【基本目標Ⅱで目指すこと】

近年、医療体制の充実、生活水準の向上、平均寿命の伸長により、「人生100年時代」を迎え、市民一人ひとりがより豊かに生きていくため、生涯にわたる学習の推進により、自らの能力を高め、その成果を個人の生活のほか、地域社会の課題解決につなげていくことが重要です。

そのため、学習機会や学習情報の提供、学習成果の活用の場の充実に取り組み、市民が生涯を通じていつでも、どこでも、自由に学習の機会を選択して学び、その成果を自発的に社会に生かすことができる生涯学習社会の実現を目指します。

1 生涯学び、活躍できる環境の整備

◆成果指標1-① 生涯学習に取り組むことで、心の豊かさを実感している市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R10年度)
26.7%	26.8%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標1-② 生涯学習の施設が充実していると思う市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R10年度)
65.8%	69.7%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

2 市民が行う主体的な学びへの支援

◆成果指標2-① 生涯学習の情報が充実していると思う市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R10年度)
59.1%	65.2%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

3 多様な主体との連携・協働による学習活動の推進

◆成果指標3-① 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R10年度)
62.2%	67.5%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■令和6年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び令和7年度の推進の方向性

- ・公民館や情報図書館をはじめとする社会教育施設について、生涯学習に取り組む市民や活動団体等に、安全で快適な学習環境を提供するため、「江別市公民館等長寿命化計画」、「江別市情報図書館長寿命化計画」等を踏まえた適切な維持補修等を行いました。
- ・生涯学習活動に取り組む社会教育関係団体が自立し、主体的に活動を展開していくよう、各活動団体が行う事業への補助や、公民館施設等使用料の減免など、活動団体の安定的な運営への支援を行いました。また、市広報誌やホームページ、SNSなどにより、様々な学習機会の情報提供を行いました。
- ・市民の多様な学習要求に応えるため、高齢者大学の開設や市内関係機関・団体と連携して「えべつ市民カレッジ」を実施し、総合的に学ぶ機会を提供しました。
- ・成果指標1-①「生涯学習に取り組むことで、心の豊かさを実感している市民割合」は、現状値（R 4年度）に比べると横ばいとなっており、多様な学習機会や学習情報の提供が求められます。1-②「生涯学習の施設が充実していると思う市民割合」は、現状値（R 4年度）に比べて3.9%増加しています。これは、公民館のロビーへのエアコン整備やテーブルの更新等、施設利用者からの要望を踏まえた施設改修等が行われていることによるものであると考えられます。成果指標2-①「生涯学習の情報が充実していると思う市民割合」は、現状値（R 4年度）に比べて6.1%増加しています。これは、従来の広報誌やホームページに加え、インスタグラムなどのSNSによる情報提供が充実してきていることが要因ではないかと考えられます。成果指標3-①「生涯学習の機会が充実していると思う市民割合」は、現状値（R 4年度）に比べて5.3%増加しています。コロナ収束後、各団体等の活動が活発化してきていることや、生涯学習の情報が入手しやすくなったことが増加の要因ではないかと考えられます。
- ・今後も、市民の主体的な学びを支援するため、市民ニーズに応じた学習機会や学習情報の提供、社会教育施設の計画的な施設整備を進めるとともに、地域に関わる多様な主体との連携・協働による学習活動を推進します。

基本目標Ⅲ：文化・芸術による豊かな人間性の涵養と郷土の歴史の保存と継承

【基本目標Ⅲで目指すこと】

文化・芸術活動は、全ての市民に潤い豊かで、活力に満ちた生活をもたらし、幸せな人生を送る糧となります。このため、市民の主体的な活動を支援するとともに、多様な文化・芸術活動に触れる機会の提供に努めます。

文化・芸術活動の拠点となる文化施設においては、環境整備に努めるとともに、情報提供や学習プログラムの構築を図ります。

また、郷土の歴史への理解を深め、その保存と継承を図るために、市民が郷土に愛着を持ち、誇れる文化資源となるよう学習機会の提供などに努めます。

1 多様な文化・芸術活動の促進

◆成果指標1-① 文化・芸術活動に参加している市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
26.6%	26.8%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

2 文化施設の機能充実

◆成果指標2-① 過去1年間に文化施設を利用した市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
25.9%	32.2%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

3 個性豊かな地域文化の保存活用と継承

◆成果指標3-① 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
35.3%	36.0%					↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標3-② 郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数 (回)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
48回	70回					→

指標：江別市教育委員会調査

■令和6年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び令和7年度の推進の方向性

- ・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や幅広い活動の場を提供するため、音楽・演劇公演の開催や文化活動団体の事業に対し支援を行いました。
- ・郷土資料館、セラミックアートセンター等の文化施設では、安全・安心で快適な学習環境を提供するため、施設の適切な維持管理に努めました。
- ・令和6年度にリニューアルオープンした旧町村農場では、酪農の歴史や文化を発信するため、市民を対象としたセミナー等を実施しました。
- ・郷土資料館では、ふるさとへの理解を深める機会を提供するため、埋蔵文化財や衣類に関する企画展や各種歴史講座、小学校の総合学習への支援等、郷土史学習に関する事業を実施しました。
- ・セラミックアートセンターでは、開館30周年記念展として、「人間国宝鈴木藏の志野展」並びに「えべつ縄文文化展」を開催し、先史時代から現代に至るまでのやきものの文化を紹介し、陶芸文化の普及に努めたとともに、幅広い世代に対応した各種陶芸教室等を開講しました。また、令和6年度にセラミックアートセンター所蔵の北炭製れんがが日本遺産の構成文化財に認定されたことを受け、「れんがのまちえべつ」への理解を深めてもらうため研修会や展示解説会を開催しました。
- ・成果指標1-①「文化・芸術活動に参加している市民割合」は、現状値 (R 4年度) に比べると横ばいとなっており、今後も参加の機会の提供や活動団体への支援が求められます。成果指標2-①「過去1年間に文化施設を利用した市民割合 (%)」は、現状値 (R 4年度) に比べて6.3%増加しています。コロナ収束後、文化・芸術活動活動が活発化し、文化施設での鑑賞機会が増えていることや、文化施設での各種講座等の参加者数が増えていることが要因であると考えられます。成果指標3-①「文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」は、現状値 (R 4年度) に比べると横ばいとなっており、文化財等をさらに活用していくことが求められます。3-②「郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数」は、現状値 (R 4年度) に比べて増加しています。これは、郷土文化や歴史を学習したいというニーズの高まりにより、市民向けの出前講座や小中学生への学習支援が増加したことによるものです。
- ・今後も市民の文化・芸術活動への支援や鑑賞機会の充実に努めます。また、郷土の歴史を継承していくため、歴史文化資源の保存及び利活用を推進するとともに、各種講座の開催等を通じて、地域文化の保存・継承に努めます。